

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。
◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。

(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業

修正届出書添付資料の概要

令和4年7月28日

横浜市

1

本日の説明内容

- 1.対象事業実施区域の変更
- 2.新事業計画の概要
- 3.方法市長意見の内容及び事業者の見解
- 4.新事業計画における環境影響要因の抽出
及び環境影響評価項目の選定
- 5.新事業計画における環境影響項目に係る
調査、予測及び評価の手法の選択
- 6.方法書対象地域

2

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。
◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。

1 対象事業実施区域の変更

3

はじめに

修正届添付資料 はじめに

区画整理事業の土地利用計画変更に伴う、 公園事業計画の変更

土地区画整理事業において、地権者の皆様との調整を進め、計画を深度化し、国有地の換地先を整理した結果、

- ・相沢川や、和泉川源頭部など自然環境の一層の保全・創出
- ・レクリエーション等のニーズに対応した施設の充実
- ・国際園芸博覧会のレガシーの確実な継承

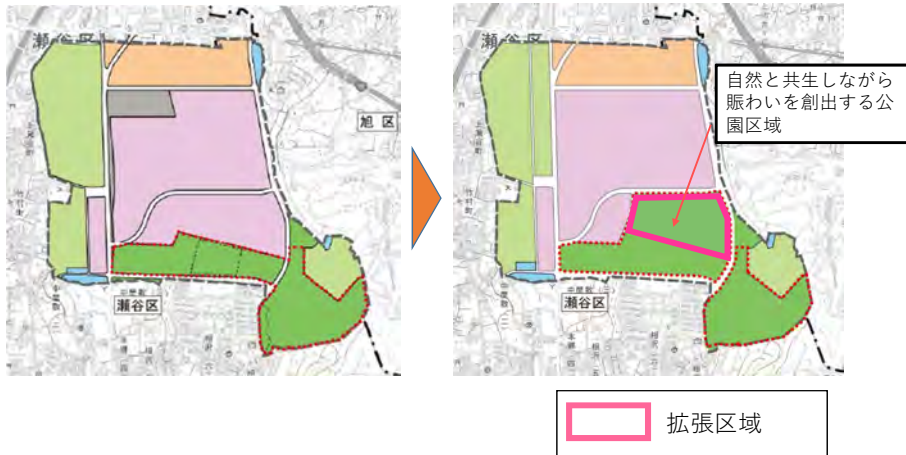
などの理由から、「自然と共生しながら、賑わいを創出する公園区域」として、公園区域を北側に約20ha拡張し、合計約65haの広域公園とすることとしました。

4

- ◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。
- ◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。

公園区域の拡張について

公園区域の拡張 約45haから約65haへ



5

2 新事業計画の概要

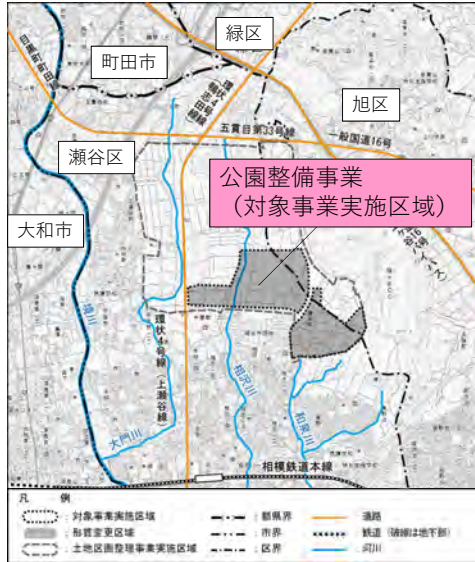
6

- ◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。
- ◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。

新事業計画の概要

修正届添付資料p.1-3,1-5

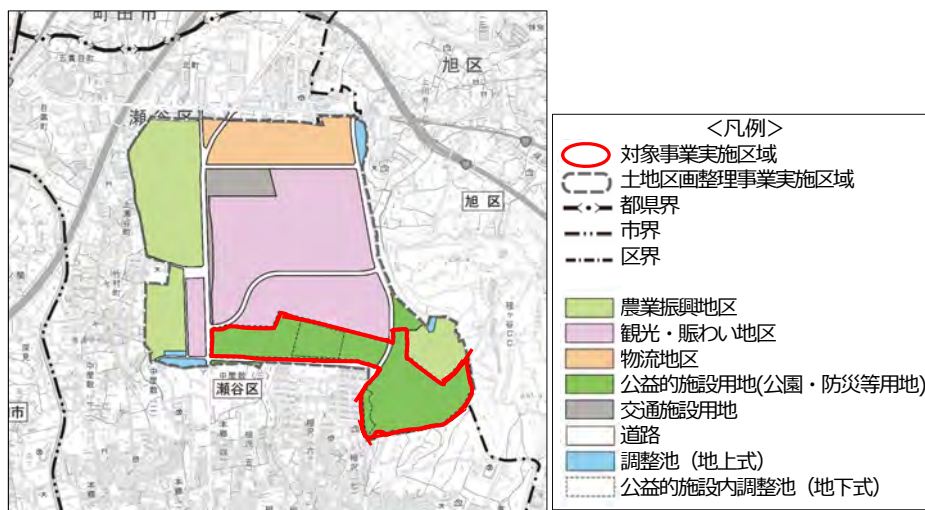
事業者の氏名及び住所
名称 横浜市 代表者の氏名 横浜市長 山中 竹春 主たる事務所の所在地 横浜市中区本町6丁目50番地の10
対象事業の名称
(仮称)旧上瀬谷通信施設公園整備事業
対象事業の種類、規模
運動施設、レクリエーション施設等の建設 (都市公園の新設) (第1分類事業) 敷地面積 約64.5ha(約19.3ha増) 形質変更区域面積 約64.5 ha (約19.3ha増)
対象事業実施区域
横浜市瀬谷区瀬谷町、旭区上川井町



7

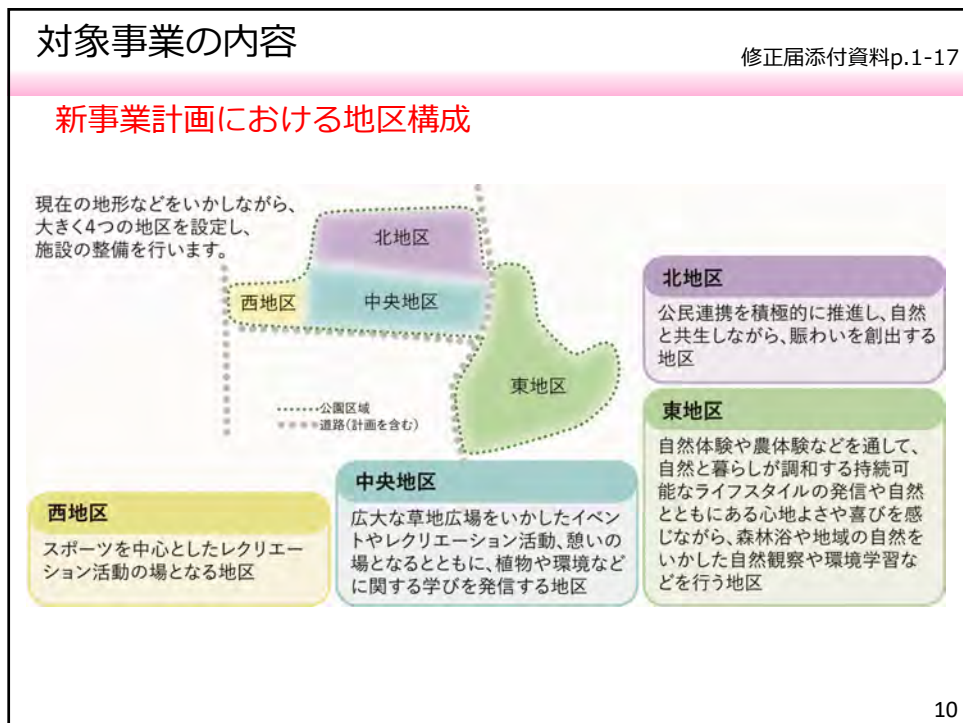
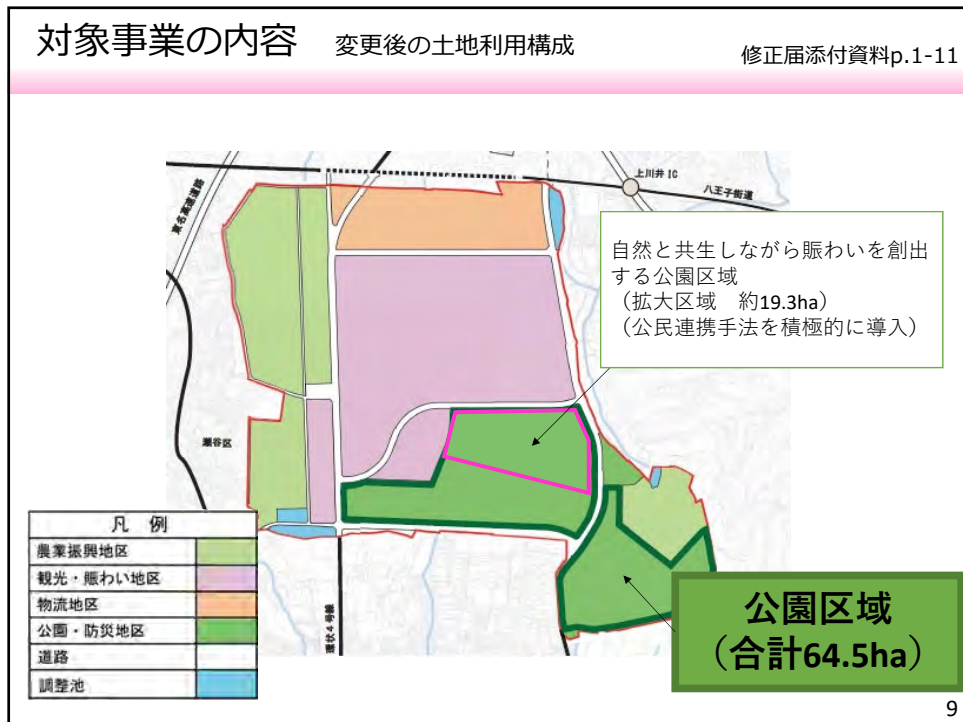
対象事業の内容 変更前の土地利用構成

修正届添付資料p.1-10



8

- ◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。
- ◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。



- ◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。
- ◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。

対象事業の内容

新事業計画における主な施設

修正届添付資料p.1-19

主な施設の特徴		
地区	施設	内容
西	運動広場	サッカー、少年サッカーなどの有料利用を想定した広場、ナイター利用も想定。
	野球場	硬式野球、少年硬式野球、軟式野球、少年軟式野球、ソフトボールなどの有料利用を想定。ナイター利用も想定。
	多目的広場	地域のスポーツレクリエーションの場として、少年軟式野球、ソフトボールなどの利用を想定。
	スポーツ施設管理棟	更衣室、シャワー、ロッカー、休憩施設などを備えた管理棟。
中央	桜並木	公園のシンボルとなる主園路沿いに配置するソメイヨシノの並木。
	サクラ広場(草地広場)	周囲に桜のある広大な草地広場。地域の祭りやイベントにも活用。災害時には避難場などの活動拠点やヘリコプターの発着も可能。
	大花壇	谷戸の地形をいかし、市内産の花苗などを活用した大花壇。
	遊具広場	大型複合遊具や健康器具、身体能力に関係なく、様々な利用者が安心して楽しめる遊具などを設置。
北	ドッグラン	犬の大きさに応じた複数の区画や、休憩施設、水飲みなどを設置。
	パークセンター1 (植物・環境体験学習等)	「みどり」ともにある持続可能なライフスタイルをテーマとした様々な展示や情報発信、体験学習等が可能な施設。休憩や飲食の場としても活用。国際園芸博覧会のレガシー継承施設としても検討。
	アウトドア体験施設 飲食・物販施設	自然と共生しながら賑わいを創出する区域として樹林などの新たな緑の創出をしながらアウトドア体験施設や飲食・物販施設などを想定し、公民連携による整備を積極的に実施。
	体験農園	農体験や収穫体験ができる農園。農体験などを通じた交流や農のコミュニティ形成の場としても活用。
東	森の散策路	和泉川の運流や周辺の自然を保全・活用し、隣接する市民の森などと連続した自然の魅力を感じられる散策路。環境教育などのフィールドとしての活用や森の維持管理への参加などを通じた森と緑のコミュニティ形成の場としても活用。
	日本庭園	和泉川の運流部を保全するとともに、日本の伝統を踏まえた自然との共生を体現する庭園。日本の伝統文化・技術の発信の場。
	パークセンター2 (環境活動拠点等)	花や農、福祉、健康、教育などをキーワードに多様な環境活動の支援・展開を行う施設。休憩や飲食の場としても活用。展示資料を活用して再現した、日本建築も整備し、伝統文化を継承する場として活用。国際園芸博覧会のレガシー継承施設としても検討。
	ガーデン・庭園	国際園芸博覧会に向けてテーマが異なる複数のガーデンや庭園を整備。市民と共につくる緑地ミックス花壇など、花と緑を通じた交流やコミュニティ形成の場としても活用。
ジョギングコース	幅の広い園路を活用し、ジョギングコースを設定。	

11

対象事業の内容

修正届添付資料p.1-20

新事業計画における公園基本計画図(案)



- 注1 本地区域整備事業や国際園芸博覧会事業の検討、環境影響評価等の手続は、公民連携による事業実施の前提として、関係機関との連携による対応が前提です。
- 注2 本図面は、仮称の「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業」の仮設計画図であり、内容、規模等は変更される可能性があります。
- 注3 施設や広場、オープン、広場などは概略的な位置を示すもので、詳細については、図面を参照してください。
- 注4 施設の詳細は、設計を進める中で確認し、確定してまいります。

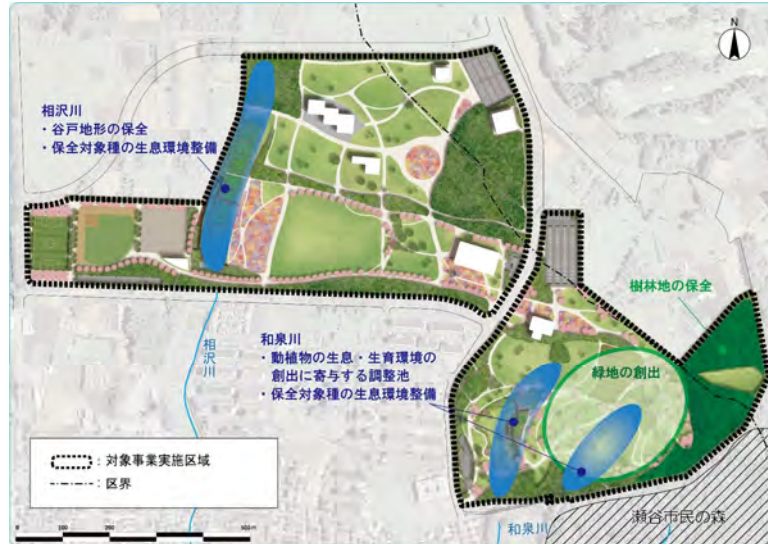
12

- ◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。
- ◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。

対象事業の内容

修正届添付資料p.1-22

新事業計画での環境配慮事項イメージ図



13

対象事業の内容

修正届添付資料p.1-24

新事業計画での和泉川源頭部の調整池



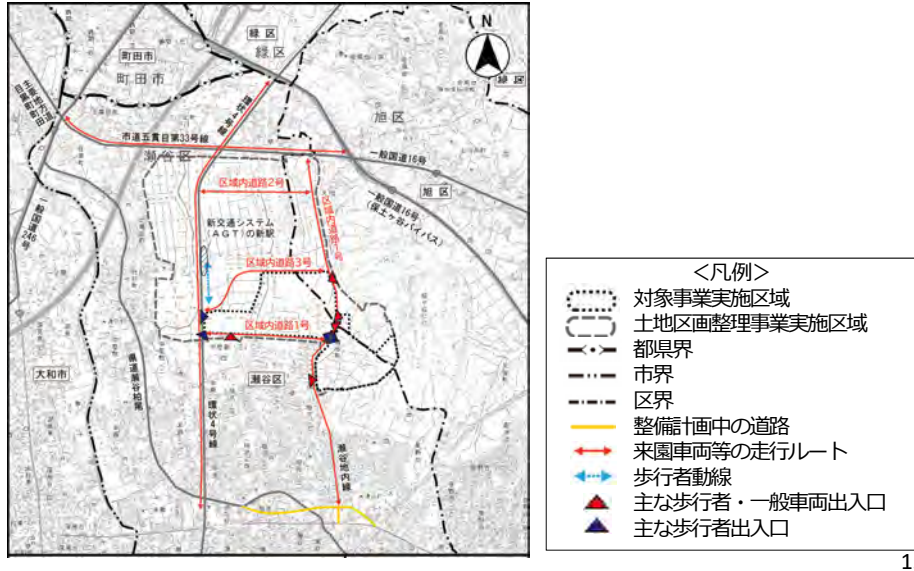
14

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。
 ◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。

対象事業の内容 動線計画

修正届添付資料p.1-30

車両・歩行者動線計画



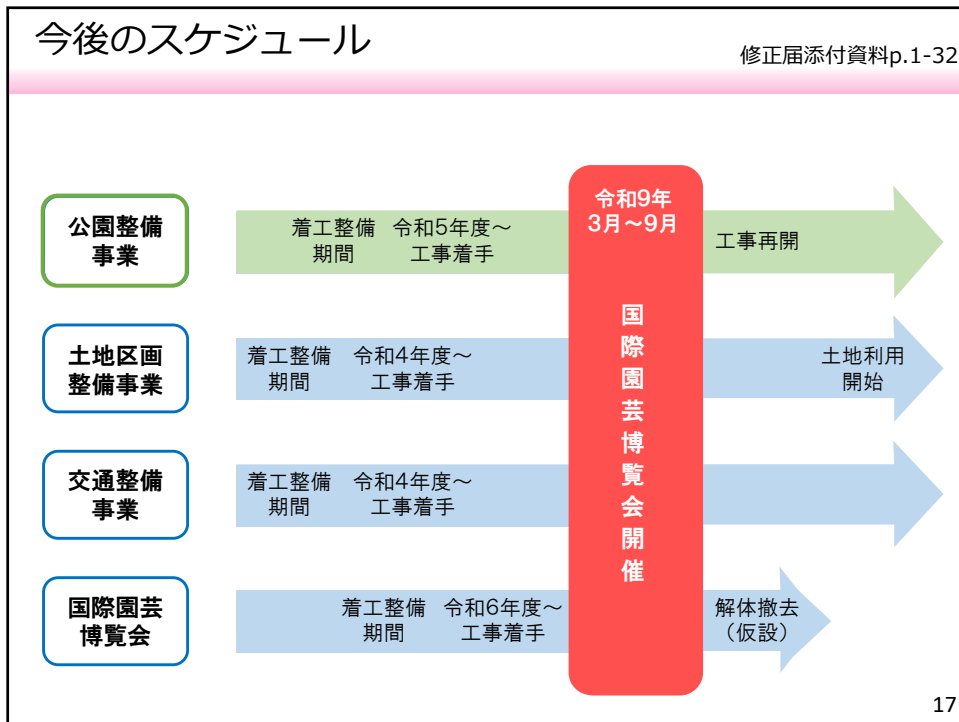
対象事業の内容 動線計画

修正届添付資料p.1-28

新事業計画における動線計画



◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。
 ◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。



施工計画

修正届添付資料p.1-34

工事概要等

○本事業で行う工事

- ・国際園芸博覧会開催前に行う一次整備
公園施設として残存する主要な園路、インフラ設備等の基盤整備、植栽地等
- ・国際園芸博覧会開催後に行う二次整備
駐車場やスポーツ施設等公園の必要施設

工種	主な工事内容
基盤整備工	敷地造成など
植栽工	植栽基盤、植栽など
設備工	給水設備、雨水排水設備、汚水排水設備、電気設備など
施設整備工	園路広場整備、管理施設整備、修景施設整備、遊戯施設整備、スポーツ施設整備など

18

- ◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。
- ◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。

施工計画

修正届添付資料p.1-36

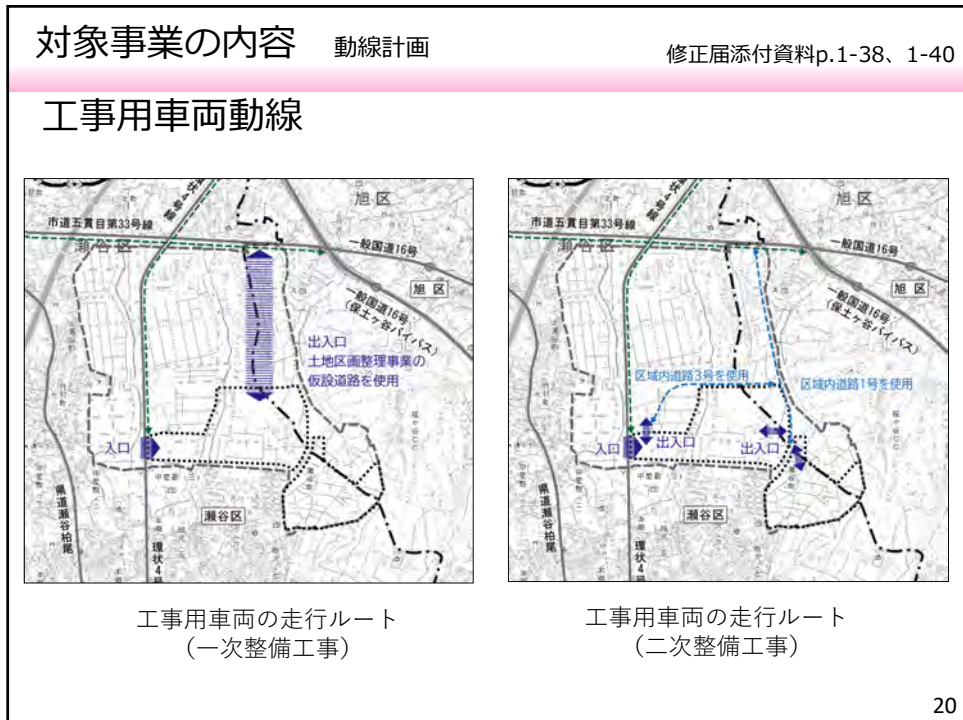
工程表 (予定)

工事種別	令和		
	元年度～8年度	9年度	10年度～25年度
着工準備期間			
準備工			
一次整備工事	基盤整備工		
	植栽工		
	設備工		
	施設整備工		
二次整備工事	基盤整備工		
	植栽工		
	設備工		
	施設整備工		

国際園芸博覧会開催予定

公園全面供用開始予定

19



◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。
◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。

3 方法市長意見の内容 及び事業者の見解

21

方法市長意見の内容及び事業者の見解

修正届添付資料p.2-2

■ 事業計画(1)

	意見の内容	事業者の見解
(1)	予測の前提条件となる施設の位置や規模、公園利用者の園内動線を明確にし、より詳細に準備書に記載してください。	導入施設、園路、駐車場等の位置及び公園利用者の園内動線を本資料に記載しました。施設規模の詳細は、準備書で示します。

22

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。

方法市長意見の内容及び事業者の見解

修正届添付資料p.2-2

■ 事業計画 (2)

意見の内容	事業者の見解
<p>(2) 対象事業実施区域には、土地区画整理事業によって消失する環境の代償措置として、生物の生息環境が創出されます。それらを含む対象事業実施区域内の生態系保全と本事業で設置する施設とが両立するとともに、生態系の質を高めるような施設配置計画や配慮を検討し、準備書に記載してください。</p>	<p>土地区画整理事業により保全対象種の生息環境が創出されるとともに、和泉川源頭部には、動植物の生息・生育環境の創出に寄与する地上式調整池(調整池4)が整備されることから、本事業においても、相沢川の谷戸地形や和泉川の源頭部の環境をいかした生物の生息生育環境の保全・創出に努め、併せて既存の樹木や地形、表土の活用などを考慮した施設整備を行います。</p> <p>このほか、運動施設やアウトドア体験施設等は西地区及び北地区に配置し、瀬谷市民の森等と隣接する東地区は、それらの樹林地との連続性に配慮した樹林地の保全や緑地の創出を行います。</p>

23

方法市長意見の内容及び事業者の見解

修正届添付資料p.2-2

■ 事業計画 (3)

意見の内容	事業者の見解
<p>(3) 対象事業実施区域内の生態系保全エリアと災害時の活用エリアをあらかじめ区別するなど、災害時の機能を十分に維持しつつ、生態系の保全も図られるよう配慮を検討し、準備書に記載してください。</p>	<p>土地区画整理事業で整備・創出される動植物の生息・生育環境の創出に寄与する地上式調整池(調整池4)及び保全対象種の生息環境が、災害時の活用エリアと重ならないよう配慮しています。具体的な配慮内容は準備書で示します。</p>

24

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。

方法市長意見の内容及び事業者の見解

修正届添付資料p.2-2

■ 事業計画(4)

意見の内容	事業者の見解
(4) 対象事業実施区域の東側に設置される計画である地上式調整池(調整池4)について、周辺にホトケドジョウが確認されていることから、それら保全対象とすべき生物に配慮した位置、構造等を検討し、具体的に準備書に記載してください。	対象事業実施区域の東側に設置される計画である地上式調整池(調整池4)は、保全対象とすべき生物が確認された場所を包含しない位置に配置することにより、保全対象種に配慮しました。調整池の具体的な構造等は準備書で示します。なお、堤体を含めた調整池及び保全対象種の生息環境である小水路は、土地区画整理事業で整備される計画です。

25

方法市長意見の内容及び事業者の見解

修正届添付資料p.2-2

■ 事業計画(5)

意見の内容	事業者の見解
(5) 対象事業実施区域の東側に保全する樹林地については、動物への影響を少なくするため、動物にとって重要な林縁部を生かして、人との距離が確保されるよう適切な維持管理も含めて、検討してください。	対象事業実施区域の東側の樹林地については、動物への影響を少なくするため、動物にとって重要な林縁部の現況を保全するとともに、園路については人との距離が適切に確保されるよう計画します。なお、市民の森と一体に利用できるよう、樹林地内の一部に散策路を予定しますが、動物への影響を考慮した管理を検討し、準備書で示します。

26

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。

方法市長意見の内容及び事業者の見解			修正届添付資料p.2-3
■ 環境影響評価項目(1)			
意見の内容			事業者の見解
(1) 工事中及び供用時	ア 水循環	対象事業実施区域内の和泉川源流域に加え、その周辺の伏流水を含む湧水の流量等も把握し、本事業による和泉川への影響についても適切に調査、予測、評価を行ってください。	対象事業実施区域内の和泉川源流域及びその周辺の伏流水を含む湧水の流量等の調査を実施します。事業実施に伴う涵養源や支流の形態及び流量への影響について調査、予測、評価することで、和泉川下流への影響についても適切に把握します。
(2) 工事中	ア 温室効果ガス	工事期間が約20年と長期に及ぶことから、環境影響評価項目として選定してください。	環境影響評価項目として工事中の「温室効果ガス」を選定しました。

27

方法市長意見の内容及び事業者の見解			修正届添付資料p.2-3
■ 環境影響評価項目(2)			
意見の内容			事業者の見解
(2) 工事中	イ 地域社会	一次整備工事時は、土地区画整理事業実施区域内の仮設道路を使用する計画であることから、本事業の対象事業実施区域の出入口だけでなく、土地区画整理事業実施区域における出入口も準備書で示してください。	一次整備工事時の本事業の対象事業実施区域の出入口及び土地区画整理事業における出入口のおおむねの位置を本資料に記載しました。
(3) 供用時	ア 温室効果ガス	施設は定常的に使用されるものであり、その規模も不明確であることから、環境影響評価項目として選定してください。	環境影響評価項目として供用時の「温室効果ガス」を選定しました。

28

- ◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。
- ◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。

方法市長意見の内容及び事業者の見解		修正届添付資料p.2-3,2-4	
■ 環境影響評価項目 (3)			
		意見の内容	事業者の見解
(3) 供 用 時	イ 生 物 多 様 性	対象事業実施区域内の微地形や集水域も踏まえた環境の詳細を把握し、新たに対象事業実施区域の東側に設置される調整池(調整池4)が地上式に変更になったことを踏まえ、予測、評価を行ってください。	対象事業実施区域内の微地形や集水域も踏まえた環境の詳細を把握しました。また、新たに対象事業実施区域の東側に設置される調整池(調整池4)が地上式に変更になったことを踏まえて予測、評価を行い、準備書で示します。
	ウ 地 域 社 会	(ア)「みどりの賑わい・レクリエーションエリア」と「みどりの発信エリア」の間に道路が計画されていることから、このエリア間の公園利用者の往来方法について、準備書に記載してください。	「中央地区(方法書では「みどりの賑わい・レクリエーションエリア」)」と「東地区(方法書では「みどりの発信エリア」)」の間の公園利用者の往来は、横断歩道を想定しています。

29

方法市長意見の内容及び事業者の見解		修正届添付資料p.2-4	
■ 環境影響評価項目 (4)			
		意見の内容	事業者の見解
(3) 供 用 時	ウ 地 域 社 会	(イ)対象事業実施区域の東側周辺において、来園車両等の走行に伴う交通混雑の影響を適切に予測するため、走行ルート沿道の主要交差点に予測地点を設定してください。	来園車両等の走行ルート及び周辺道路整備計画を踏まえ、対象事業実施区域の南東側を走る瀬谷地内線に新しく2箇所の交差点が設置される計画のため、予測地点として新たに地点8、地点9を選定しました。
	工 景 観	「みどりの実践エリア」及び「みどりの発信エリア」に設置する施設の存在により困繞景観の変化があることから、対象事業実施区域内からの景観についても調査、予測、評価を行ってください。	困繞景観の変化を把握できる地点から調査、予測、評価を行い、準備書で示します。

30

- ◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。
- ◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。

4 新事業計画における環境影響要因の抽出及び環境影響評価項目の選定

31

環境影響要因の抽出

修正届添付資料p.4-3

区分	環境影響要因	抽出の理由
工事中	建設機械の稼働	・造成工事や建物の建築等のために、建設機械が対象事業実施区域で稼働します。
	工事用車両の走行	・資機材の運搬や廃棄物等の搬出を行う車両が、周辺道路を運行します。
	建設行為等	・造成工事や建物の建築等の工事を実施します。
供用時	施設の存在 土地利用の変化	・対象事業実施区域内に公園施設が出現し、土地利用が変化します。
	施設の運営	・公園施設管理・運営作業が行われます。 ・利用者及び施設管理関係者が施設を利用します。
	来園車両等の走行	・利用者による来園車両及び管理用車両が走行します。

注1：区分欄に掲げる「供用時」は、公園整備が完了し全体供用開始の時点を示す。

32

- ◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。
- ◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。

環境影響要因と環境影響評価項目の関連表		修正届添付資料p.4-5		
■ 工事中		環境影響要因		
環境影響評価項目	細目	建設機械の稼働	工事用車両の走行	建設行為等
生物多様性	動物/植物/生態系			○
水循環	湧水の流量			○
廃棄物・建設発生土	産業廃棄物/建設発生土			○
大気質	大気汚染	○	○	
騒音		○	○	
振動		○	○	
地域社会	交通混雑/歩行者の安全		○	
触れ合い活動の場	触れ合い活動の場		○	

33

環境影響要因と環境影響評価項目の関連表		修正届添付資料p.4-5		
■ 供用時		環境影響要因		
環境影響評価項目	細目	施設の存在	施設の供用	
		施設の存在・土地利用の変化	施設の運営	来園車両等の走行
温室効果ガス			○	
生物多様性	動物/植物/生態系	○	○	
水循環	湧水の流量	○		
廃棄物・建設発生土	一般廃棄物/産業廃棄物		○	
大気質	大気汚染			○
騒音				○
振動				○
地域社会	交通混雑/歩行者の安全			○
景観		○		
触れ合い活動の場		○		○

34

- ◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。
- ◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。

5 新事業計画における環境影響項目に係る調査、予測及び評価の手法の選択

35

現地調査

修正届添付資料p.5-3

■ 土地区画整理事業の現地調査結果の活用を予定している項目及び公園事業において調査を実施する項目

環境影響評価項目	現地調査	土地区画整理事業の現地調査結果の活用を予定している項目	公園事業において調査を実施する項目
温室効果ガス	-	-	-
生物多様性	○	○	-
水循環 (湧水の流量)	○	○	○
廃棄物・建設発生土	-	-	-
大気質	○	○	-
騒音	○	○	-
振動	○	○	-
地域社会 (交通混雑、歩行者の安全)	○	○	-
景観	○	○	○ (近景の調査を実施)
触れ合い活動の場	○	○	-

36

- ◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。
- ◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。

温室効果ガス		修正届添付資料p.5-5
調査手法		
調査項目 ^{注1}	調査方法	
温室効果ガスに係る 原単位の把握	資料	「 <u>温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル</u> 」 (<u>環境省・経済産業省 令和4年1月</u>)等により、 <u>予測式及び原単位を整理します。</u>
注1：主な調査項目を記載。		
		37

温室効果ガス		修正届添付資料p.5-7
予測手法(工事中)		
予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
建設機械の稼働に伴う 温室効果ガスの排出量	【 <u>地域・地点</u> 】 対象事業実施区域 【 <u>時期</u> 】 工事期間全体	建設機械の種類、台数等を整理の上、 「 <u>温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル</u> 」(環境省・経済産業省 令和4年1月)等に基づき、 温室効果ガスの排出量を算定
工事用車両の走行に伴う 温室効果ガスの排出量		工事用車両の種類、台数等を整理の上、 「 <u>温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル</u> 」(環境省・経済産業省 令和4年1月)等に基づき、 温室効果ガスの排出量を算定
		38

- ◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。
- ◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。

温室効果ガス

修正届添付資料p.5-7

予測手法(供用時)

予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
施設の運営に伴う温室効果ガスの排出量	<u>【地域・地点】</u> 対象事業実施区域 <u>【時期】</u> 工事完了後、事業活動が平常の状態になる時期	導入予定の設備機器を整理の上、 <u>「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」(環境省・経済産業省 令和4年1月)等に基づき、</u> 温室効果ガスの排出量を算定

39

生物多様性(動物)

修正届添付資料p.5-9

調査手法

調査項目 ^{注1}	調査方法	
動物の状況 ・動物相 ・生息環境の特性 ・注目すべき動物種及び生息地の状況 ・動物の生息環境からみた地域環境特性	資料 現地	既存資料による情報の収集・整理及び現地踏査
	注2 資料	陸生動物 動物相調査 a.哺乳類 ・任意観察法、フィールドサイン法、トラップ法、無人撮影法及び夜間調査 ・4季(夏季、秋季、冬季、春季) ※夜間は2季(夏季、春季) b.鳥類 ・任意観察法、ラインセンサス法、定点観察法及び夜間調査 ・5季(夏季、秋季、冬季、春季、初夏) ※定点観測法(猛禽類)は2繁殖期

注1: 主な調査項目を記載。

注2: 土地区画整理事業において実施された現地調査の結果を収集・整理。
 調査方法は、土地区画整理事業評価書における調査方法を参考に記載。

40

- ◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。
- ◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。

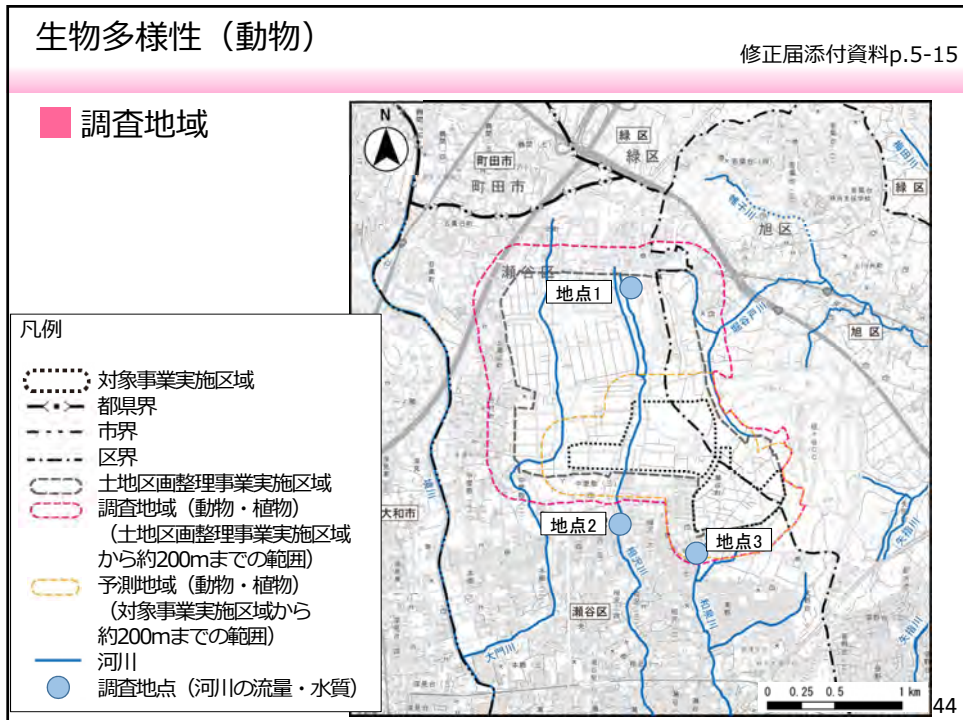
生物多様性 (動物)		修正届添付資料p.5-9
調査手法		
調査項目注1	調査方法	
動物の状況 ・動物相 ・生息環境の特性 ・注目すべき動物種及び生息地の状況 ・動物の生息環境からみた地域環境特性	注2 資料	c.両生類及び爬虫類 ・任意観察法、任意採取法及び夜間調査 ・5季(夏季、秋季、早春季、春季、初夏季) ※夜間は3季(夏季、春季、初夏季) d.昆虫類 ・任意観察法、任意採取法、ライトトラップ法、ベイトトラップ法、夜間調査及び鳴声調査 ・3季(夏季、秋季、春季) ※夜間調査は1季(初夏季)、鳴声調査は1季(夏季) e.クモ類 ・任意観察法及び任意採取法 ・3季(夏季、秋季、春季) f.陸産貝類 ・任意観察法及び任意採取法 ・2季(冬季、初夏季)
注1:主な調査項目を記載。 注2:土地区画整理事業において実施された現地調査の結果を収集・整理。 調査方法は、土地区画整理事業評価書における調査方法を参考に記載。		

生物多様性 (動物)		修正届添付資料p.5-9
調査手法		
調査項目注1	調査方法	
動物の状況 ・動物相 ・生息環境の特性 ・注目すべき動物種及び生息地の状況 ・動物の生息環境からみた地域環境特性	注2 資料	水生生物 a.魚類 ・任意観察法及び任意採取法 ・4季(夏季、秋季、冬季、春季) b.底生動物 ・任意観察法、任意採取法及び定量調査 ・4季(夏季、秋季、冬季、春季)
注1:主な調査項目を記載。 注2:土地区画整理事業において実施された現地調査の結果を収集・整理。 調査方法は、土地区画整理事業評価書における調査方法を参考に記載。		

- ◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。
- ◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。

生物多様性 (動物)		修正届添付資料p.5-11
調査手法		
調査項目注1	調査方法	
水質の状況	注2 資料	「水質調査方法」(昭和46年9月30日 環水管30号)及び「水質汚濁に係る環境基準について」(昭和46年12月28日 環境庁告示第59号)に定める方法に準拠し、浮遊性物質(SS)、水素イオン濃度(pH)を現地調査により把握 ・平常時：2回(渇水期、豊水期)
水循環の状況	資料 注2 資料 現地	湧水の流量は、既存資料の収集・整理による調査及び「表 6.10」に示すとおり
	注2 資料	河川の流量は、「水質調査方法」(昭和46年9月 環水管30号)に定める方法に準拠し、現地調査により把握 ・平常時2回(渇水期、豊水期)

注1：主な調査項目を記載。
注2：土地区画整理事業において実施された現地調査の結果を収集・整理。
調査方法は、土地区画整理事業評価書における調査方法を参考に記載。



- ◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。
- ◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。

生物多様性 (動物)

修正届添付資料p.5-13

■ 予測手法 (工事中)

予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
工事の実施に伴う陸生動物の動物相、水生生物相の変化の内容及びその程度	<p>【地域・地点】 対象事業実施区域の端部から約200mまでの範囲(舗装地等人工改変地を除く)</p> <p>【時期】 工事期間全体</p>	調査で把握した陸生動物の動物相、水生生物相の状況及び生息環境と施工計画を比較することで、対象事業実施区域に隣接する瀬谷市民の森等を生息環境とする動物への間接的影響の程度を定性的に予測

45

生物多様性 (動物)

修正届添付資料p.5-13

■ 予測手法 (供用時)

予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
施設の使用・土地利用の変化に伴う陸生動物の動物相、水生生物相の変化の内容及びその程度	<p>【地域・地点】 対象事業実施区域内</p> <p>【時期】 工事完了後、事業活動が平常の状態になり、新たな環境が安定する時期</p>	調査で把握した陸生動物の動物相、水生生物相の状況及び生息環境と事業計画を比較することで、対象事業実施区域に整備される緑の量並びに緑の質、及び瀬谷市民の森等とのつながりを踏まえ、土地区画整理事業による改変後からの生物多様性の回復の程度を定性的に予測

46

- ◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。
- ◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。

生物多様性 (動物)

修正届添付資料p.5-13

■ 予測手法 (供用時)

予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
施設の運営に伴う陸生動物の動物相、水生生物相の変化の内容及びその程度	<p>【地域・地点】 対象事業実施区域の端部から約200mまでの範囲(舗装地等人工改変地を除く)</p> <p>【時期】 工事完了後、事業活動が平常の状態になり、新たな環境が安定する時期</p>	調査で把握した陸生動物の動物相、水生生物相の状況及び生息環境と事業計画を比較することで、対象事業実施区域に隣接する瀬谷市民の森等を生息環境とする動物への照明設備の使用による間接的影響の程度を定性的に予測

47

生物多様性 (植物)

修正届添付資料p.5-17

■ 調査手法

調査項目注1	調査方法	
植物の状況 ・植物相 ・植生 ・注目すべき植物種及び植物群落の状況	資料 現地	既存資料による情報の収集・整理及び現地踏査
	注2 資料	陸生植物 a.植物相調査 ・任意観察法、任意採集法及び大径木調査 ・4季(夏季、秋季、早春季、春季) b.植生調査 ・コドラート法 ・2季(夏季、春季) 水生植物 a.付着藻類調査 ・任意観察法及び定量採取法 ・4季(夏季、秋季、冬季、春季)

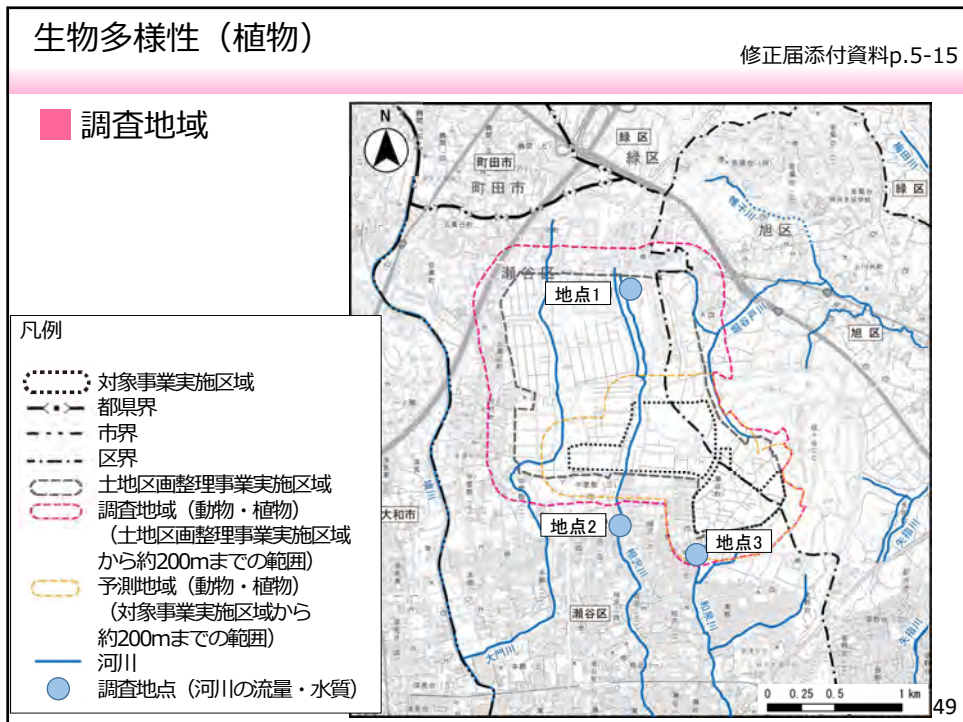
注1：主な調査項目を記載。

注2：土地区画整理事業において実施された現地調査の結果を収集・整理。

調査方法は、土地区画整理事業評価書における調査方法を参考に記載。

48

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。
 ◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。



生物多様性 (植物)

修正届添付資料p.5-19

予測手法 (工事中)

予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
工事の実施に伴う陸生植物の植物相、水生植物の植物相の変化の内容及びその程度	<p>【地域・地点】 <u>対象事業実施区域の端部から約200mまでの範囲(舗装地等人工改変地を除く)</u></p> <p>【時期】 工事期間全体</p>	調査で把握した陸生植物の植物相、水生植物の植物相及び植生の状況と施工計画を比較することで、 <u>対象事業実施区域に隣接する瀬谷市民の森等を生育環境とする植物への間接的影響の程度を定性的に予測</u>

50

- ◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。
- ◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。

生物多様性 (植物)		
修正届添付資料p.5-19		
■ 予測手法 (供用時)		
予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
施設の存在・土地利用の変化に伴う陸生植物の植物相、水生植物の植物相の変化の内容及びその程度	<p>【地域・地点】 対象事業実施区域内</p> <p>【時期】 工事完了後、事業活動が平常の状態になり、新たな環境が安定する時期</p>	調査で把握した陸生植物の植物相、水生植物の植物相及び植生の状況と事業計画を比較することで、対象事業実施区域に整備される緑の量並びに緑の質、及び瀬谷市民の森等とのつながりを踏まえ、土地区画整理事業による改変後からの生物多様性の回復の程度を定性的に予測

51

生物多様性 (植物)		
修正届添付資料p.5-19		
■ 予測手法 (供用時)		
予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
施設の運営に伴う陸生植物の植物相、水生植物の植物相の変化の内容及びその程度	<p>【地域・地点】 対象事業実施区域の端部から約200mまでの範囲(舗装地等人工改変地を除く)</p> <p>【時期】 工事完了後、事業活動が平常の状態になり、新たな環境が安定する時期</p>	調査で把握した陸生植物の植物相、水生植物の植物相及び植生の状況と事業計画を比較することで、対象事業実施区域に隣接する瀬谷市民の森等を生育環境とする植物への照明設備の使用による間接的影響の程度を定性的に予測

52

- ◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。
- ◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。

生物多様性 (生態系)		修正届添付資料p.5-21
調査手法		
調査項目 ^{注1}	調査方法	
生態系の状況 ・生態系を構成する要素の状況 ・食物連鎖の状況	資料 ^{注2} 資料 現地	動物の状況及び植物の状況の調査結果及び現地踏査により、生態系の状況を把握
注1：主な調査項目を記載。		
注2：土地区画整理事業において実施された現地調査の結果を収集・整理。 調査方法は、土地区画整理事業評価書における調査方法を参考に記載。		
		53

生物多様性 (生態系)		修正届添付資料p.5-23
予測手法 (工事中)		
予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
工事の実施に伴う生態系の状況の変化の内容及びその程度	【地域・地点】 <u>対象事業実施区域の端部から約200mまでの範囲(舗装地等人工改変地を除く)</u> 【時期】 工事期間全体	調査で把握した生態系の状況と施工計画を比較することで、 <u>対象事業実施区域に隣接する瀬谷市民の森等の生態系への間接的影響の程度を定性的に予測</u>
		54

- ◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。
- ◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。

生物多様性 (生態系)		
修正届添付資料p.5-23		
■ 予測手法 (供用時)		
予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
施設の存在・土地利用の変化に伴う生態系の状況の変化の内容及びその程度	<p>【地域・地点】 対象事業実施区域内</p> <p>【時期】 工事完了後、事業活動が平常の状態になり、新たな環境が安定する時期</p>	調査で把握した生態系の状況と事業計画を比較することで、 <u>対象事業実施区域に整備される緑の量並びに緑の質、及び瀬谷市民の森等とのつながりを踏まえ、土地区画整理事業による改変後からの生物多様性の回復の程度を定性的に予測</u>
施設の運営に伴う生態系の状況の変化の内容及びその程度	<p>【地域・地点】 対象事業実施区域の端部から約200mまでの範囲(舗装地等人工改変地を除く)とします。</p> <p>【時期】 工事完了後、事業活動が平常の状態になり、新たな環境が安定する時期</p>	調査で把握した生態系の状況と事業計画を比較することで、 <u>対象事業実施区域に隣接する瀬谷市民の森等を生息・生育環境とする動物・植物への照明設備の使用による間接的影響の程度を定性的に予測</u>

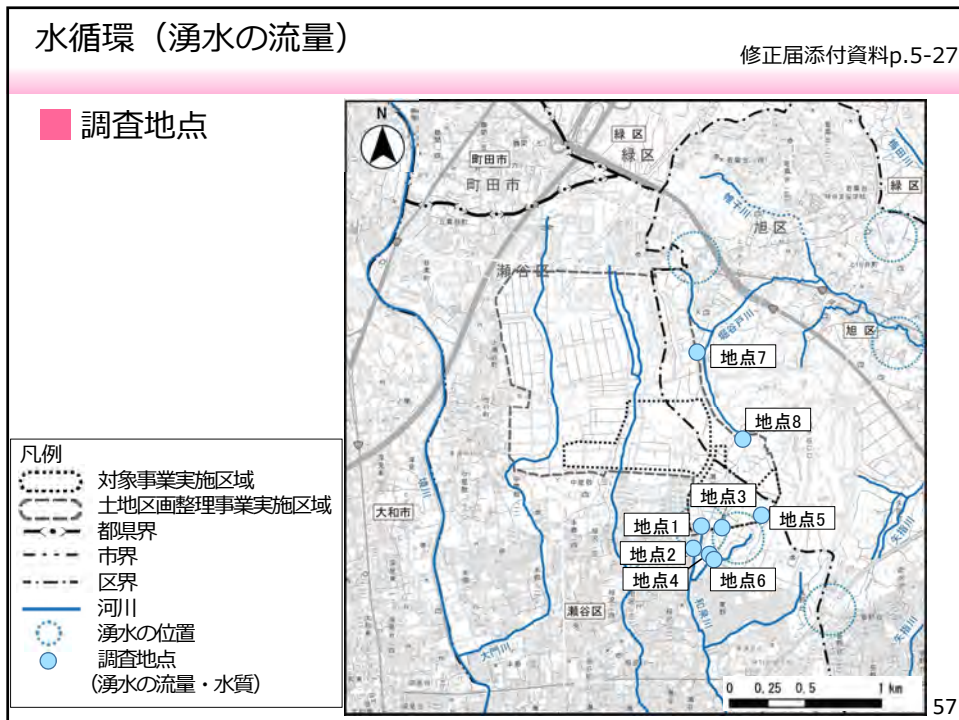
55

水循環 (湧水の流量)		
修正届添付資料p.5-25		
■ 調査手法		
調査項目 ^{注1}	調査方法	
地下水の状況 ・湧水の分布、流量 及び水質	資料	既存資料の収集・整理
	現地	「 <u>水質調査方法</u> 」(昭和46年9月 環水管30号)に定める方法又は容器法により、 <u>湧水量、水温、水素イオン濃度(pH)、電気伝導度(EC)を調査</u> ・地点1～6：4回(四季)
	^{注2} 資料	「 <u>水質調査方法</u> 」(昭和46年9月 環水管30号)に定める方法又は容器法により、 <u>湧水量、水温、水素イオン濃度(pH)、電気伝導度(EC)を調査</u> ・地点7～8：平常時2回(渇水期、豊水期)

注1：主な調査項目を記載。
注2：土地区画整理事業において実施された現地調査の結果を収集・整理。
調査方法は、土地区画整理事業評価書における調査方法を参考に記載。

56

- ◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。
- ◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。



水循環 (湧水の流量)

修正届添付資料p.5-25

予測手法 (工事中)

予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
工事の実施に伴い変化する湧水の流況	【地域・地点】 対象事業実施区域及びその周辺 【時期】 工事による影響が最大となる時期	施工計画の内容を勘案し、建設行為に伴う湧水の流況への影響について定性的に予測 ^{注1}

予測手法 (供用時)

予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
施設の存在・土地利用の変化に伴い変化する湧水の流況	【地域・地点】 対象事業実施区域及びその周辺 【時期】 工事完了後、事業活動が平常の状態になり、新たな環境が安定する時期	事業計画の内容を勘案し、施設の存在・土地利用の変化に伴う湧水の流況への影響について定性的に予測 ^{注1}

注1：本事業の実施に伴う涵養源や支流の形態及び流量への影響について調査、予測、評価することで、和泉川下流への影響についても適切に把握します。

58

- ◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。
- ◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。

廃棄物・建設発生土		修正届添付資料p.5-29
調査手法		
調査項目 ^{注1}	調査方法	
廃棄物及び建設発生土の処理処分の状況 ・種類別発生量 ・資源化の状況 ・廃棄物の処理状況	資料	横浜市における廃棄物及び建設発生土の処理状況等を、既存資料の収集・整理により把握
注1：主な調査項目を記載。		
		59

廃棄物・建設発生土		修正届添付資料p.5-31
予測手法 (工事中)		
予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
工事の実施により発生する産業廃棄物	【地域・地点】 対象事業実施区域内	施工計画を基に発生量を推定すると共に、本事業で実行可能な再利用等の方法や、処理方法等を整理し、種類ごとに発生量と最終処分量を予測
工事の実施により発生する建設発生土	【時期】 工事期間全体	
予測手法 (供用時)		
予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
施設の運営により発生する一般廃棄物	【地域・地点】 対象事業実施区域内	事業計画を基に発生量を推定すると共に、本事業で実行可能な再利用等の方法や、処理方法等を整理し、種類ごとに発生量と最終処分量を予測
施設の運営により発生する産業廃棄物	【時期】 工事完了後、事業活動が平常の状態になり、新たな環境が安定する時期	
		60

- ◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。
- ◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。

大気質		修正届添付資料p.5-33
■ 調査手法		
調査項目 ^{注1}	調査方法	
大気質の状況 ・窒素酸化物 ・浮遊粒子状物質	資料	対象事業実施区域近傍の常時監視測定局のデータを収集・整理
	^{注2} 資料	「二酸化窒素に係る環境基準について」等に定める方法により測定 ・7日間×24時間×4季
気象の状況 ・風向、風速 ・日射量 ・放射収支量	資料	対象事業実施区域近傍の常時監視測定局のデータを収集・整理
	^{注2} 資料	風向・風速の状況を「地上気象観測指針」に定める方法により測定 日射量、放射収支量の状況を日射計及び放射収支計を設置して調査 ・7日間×24時間×4季

注1：主な調査項目を記載。
注2：土地区画整理事業において実施された現地調査の結果を収集・整理。
調査方法は、土地区画整理事業評価書における調査方法を参考に記載。

61

大気質		修正届添付資料p.5-33
■ 調査手法		
調査項目 ^{注1}	調査方法	
大気汚染物質の主要な発生源の状況 ・主要発生源の状況 ・自動車交通量等の状況	資料	既存資料の収集・整理及び現地踏査
	^{注2} 資料	自動車断面交通量を測定 ・平日(昼間6時～22時)×1回 ・休日(昼間6時～22時)×1回

注1：主な調査項目を記載。
注2：土地区画整理事業において実施された現地調査の結果を収集・整理。
調査方法は、土地区画整理事業評価書における調査方法を参考に記載。

62

- ◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。
- ◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。



大気質

修正届添付資料p.5-37

予測手法 (工事中)

予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
建設機械の稼働に伴う大気質濃度	【地域・地点】 最大着地濃度の出現する地点を含む範囲 【時期】 建設機械の稼働による影響が最大となる時期	「道路環境影響評価の技術手法(平成24年度版)」に示されている大気拡散式により、年平均値を予測
工事用車両の走行に伴う大気質濃度	【地域・地点】 工事用車両の走行ルート沿道として想定される道路沿道4地点(地点1~4) 【時期】 工事用車両の走行による影響が最大となる時期	「道路環境影響評価の技術手法(平成24年度版)」に示されている大気拡散式により、年平均値を予測

64

- ◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。
- ◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。

大気質		修正届添付資料p.5-37						
<p>■ 予測手法 (供用時)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>予測項目</th> <th>予測地域・地点・時期</th> <th>予測方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>来園車両等の走行に伴う大気質濃度</td> <td> 【地域・地点】 来園車両等の走行ルート沿道として想定される道路沿道の7地点(地点1~7) 【時期】 供用開始時 </td> <td>「道路環境影響評価の技術手法(平成24年度版)」に示されている大気拡散式により、年平均値を予測</td> </tr> </tbody> </table>			予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法	来園車両等の走行に伴う大気質濃度	【地域・地点】 来園車両等の走行ルート沿道として想定される道路沿道の7地点(地点1~7) 【時期】 供用開始時	「道路環境影響評価の技術手法(平成24年度版)」に示されている大気拡散式により、年平均値を予測
予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法						
来園車両等の走行に伴う大気質濃度	【地域・地点】 来園車両等の走行ルート沿道として想定される道路沿道の7地点(地点1~7) 【時期】 供用開始時	「道路環境影響評価の技術手法(平成24年度版)」に示されている大気拡散式により、年平均値を予測						
		65						

騒音		修正届添付資料p.5-41												
<p>■ 調査手法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査項目^{注1}</th> <th colspan="2">調査方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 騒音の状況 ・一般環境騒音 ・道路交通騒音 </td> <td> ^{注2} 資料 </td> <td> 「騒音に係る環境基準について」に定める方法に準拠し、測定 ・平日(昼間6時~22時)×1回 ・休日(昼間6時~22時)×1回 </td> </tr> <tr> <td> 騒音の主要な発生源の状況 ・主要発生源の状況 ・自動車交通量等の状況 </td> <td> 資料 現地 </td> <td> 既存資料の収集・整理及び現地踏査 </td> </tr> <tr> <td></td> <td> ^{注2} 資料 </td> <td> 自動車断面交通量を測定 ・平日(昼間6時~22時)×1回 ・休日(昼間6時~22時)×1回 </td> </tr> </tbody> </table>			調査項目 ^{注1}	調査方法		騒音の状況 ・一般環境騒音 ・道路交通騒音	^{注2} 資料	「騒音に係る環境基準について」に定める方法に準拠し、測定 ・平日(昼間6時~22時)×1回 ・休日(昼間6時~22時)×1回	騒音の主要な発生源の状況 ・主要発生源の状況 ・自動車交通量等の状況	資料 現地	既存資料の収集・整理及び現地踏査		^{注2} 資料	自動車断面交通量を測定 ・平日(昼間6時~22時)×1回 ・休日(昼間6時~22時)×1回
調査項目 ^{注1}	調査方法													
騒音の状況 ・一般環境騒音 ・道路交通騒音	^{注2} 資料	「騒音に係る環境基準について」に定める方法に準拠し、測定 ・平日(昼間6時~22時)×1回 ・休日(昼間6時~22時)×1回												
騒音の主要な発生源の状況 ・主要発生源の状況 ・自動車交通量等の状況	資料 現地	既存資料の収集・整理及び現地踏査												
	^{注2} 資料	自動車断面交通量を測定 ・平日(昼間6時~22時)×1回 ・休日(昼間6時~22時)×1回												
<p>注1：主な調査項目を記載。 注2：土地区画整理事業において実施された現地調査の結果を収集・整理。 調査方法は、土地区画整理事業評価書における調査方法を参考に記載。</p>														
		66												

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。
 ◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。



修正届添付資料p.5-43

騒音

予測手法 (工事中)

予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
建設機械の稼働に伴う騒音	<p>【地域・地点】 対象事業実施区域の敷地境界から100mの範囲</p> <p>【時期】 建設機械の稼働による影響が最大となる時期</p>	「道路環境影響評価の技術手法(平成24年度版)」に示されている予測計算モデル(ASJ CN-Model)を用い、予測
工事用車両の走行に伴う道路交通騒音	<p>【地域・地点】 工事用車両の走行ルート沿道として想定される道路沿道4地点(地点1~4)</p> <p>【時期】 工事用車両の走行による影響が最大となる時期</p>	「道路交通騒音の予測計算モデル(ASJ RTN Model)」を用い、予測

68

- ◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。
- ◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。

騒音		
		修正届添付資料p.5-43
<p>■ 予測手法 (供用時)</p>		
予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
来園車両等の走行に伴う道路交通騒音	<p>【地域・地点】 来園車両等の走行ルート沿道として想定される道路沿道の7地点 (地点1～7) 【時期】 供用開始時</p>	「道路交通騒音の予測計算モデル(ASJ RTN Model)」を用い、予測
		69

振動		
		修正届添付資料p.5-47
<p>■ 調査手法</p>		
調査項目 ^{注1}	調査方法	
振動の状況 ・一般環境振動	注2 資料	「振動レベル測定方法」(JIS Z 8735)に定める方法に準拠し、測定 ・平日(昼間8時～19時)×1回 ・休日(昼間8時～19時)×1回
振動の状況 ・道路交通振動	注2 資料	「振動規制法施行規則」に定める方法に準拠し、測定 ・平日(昼間8時～19時)×1回 ・休日(昼間8時～19時)×1回
注1：主な調査項目を記載。 注2：土地区画整理事業において実施された現地調査の結果を収集・整理。 調査方法は、土地区画整理事業評価書における調査方法を参考に記載。		
		70

- ◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。
- ◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。

振動		修正届添付資料p.5-47
調査手法		
調査項目 ^{注1}	調査方法	
地盤の状況 ・地盤卓越振動数	注2 資料	「道路環境影響評価の技術手法(平成24年度版)」に基づき、測定 ・大型車の単独走行10台
振動の主要な発生源の状況 ・主要発生源の状況 ・自動車交通量等の状況	資料 現地	既存資料の収集・整理及び現地踏査
	注2 資料	自動車断面交通量を測定 ・平日(昼間8時～19時)×1回 ・休日(昼間8時～19時)×1回
<p>注1：主な調査項目を記載。</p> <p>注2：土地区画整理事業において実施された現地調査の結果を収集・整理。 調査方法は、土地区画整理事業評価書における調査方法を参考に記載。</p>		
		71



- ◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。
- ◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。

振動		
修正届添付資料p.5-49		
■ 予測手法 (工事中)		
予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
建設機械の稼働に伴う振動	【地域・地点】 対象事業実施区域の敷地境界から100mの範囲 【時期】 建設機械の稼働による影響が最大となる時期	「道路環境影響評価の技術手法(平成24年度版)」に示されている振動の伝搬理論に基づく予測式を用い、予測
工事用車両の走行に伴う道路交通振動	【地域・地点】 工事用車両の走行ルート沿道として想定される道路沿道4地点(地点1~4) 【時期】 工事用車両の走行による影響が最大となる時期	「道路環境影響評価の技術手法(平成24年度版)」に示されている予測式を用い、予測

73

振動		
修正届添付資料p.5-49		
■ 予測手法 (供用時)		
予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
来園車両等の走行に伴う道路交通振動	【地域・地点】 来園車両等の走行ルート沿道として想定される道路沿道の7地点(地点1~7) 【時期】 供用開始時	「道路環境影響評価の技術手法(平成24年度版)」に示されている予測式を用い、予測

74

- ◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。
- ◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。

地域社会(交通混雑、歩行者の安全)

修正届添付資料p.5-53

調査手法

調査項目 ^{注1}	調査方法	
日常生活圏等の状況 ・公共施設等の位置 ・学区、通学路の状況 ・避難場所等の状況	資料	区民生活マップ等の既存資料の収集・整理
地域交通の状況 ・主要な交通経路及び交通量の状況 ・主要交差点部における交通処理 ・交通安全対策の状況 ・交通事故の発生状況	資料 現地	既存資料の収集・整理及び現地踏査 主要交差点部における時間別・車種別・方向別自動車交通量、渋滞の状況及び信号現示を調査 ・混雑時(24時間)×1回 ・休日(24時間)×1回 ・平日(24時間)×1回
歩行者の状況 ・主要な通行経路、歩行者数、歩行空間の幅員等	注2 資料	歩道部等の時間別・方向別歩行者・自転車交通量を調査 ・混雑時(24時間)×1回 ・休日(24時間)×1回 ・平日(24時間)×1回 歩行空間の幅員等を現地踏査により把握

注1：主な調査項目を記載。

注2：土地区画整理事業において実施された現地調査の結果を収集・整理。
調査方法は、土地区画整理事業評価書における調査方法を参考に記載。

75

地域社会(交通混雑、歩行者の安全)

修正届添付資料p.5-57

調査地点

- 凡例
- 対象事業実施区域
 - 土地区画整理事業実施区域
 - 都県界
 - 市界
 - 区界
 - 工事用車両の走行ルート
(一次整備工事、二次整備工事)
 - 工事用車両の走行ルート
(二次整備工事)
 - 来園車両等の走行ルート
 - 整備箇所内の道路
 - 調査地点(交通混雑、歩行者の安全)
 - 調査地点(自動車断面交通量)
 - 工事用車両の専用出入口
(一次整備工事)
 - 工事用車両の専用出入口
(二次整備工事)
 - 工事用車両の専用入口
(一次整備工事、二次整備工事)



注1：地点8、地点9は交差点が現存しないため、予測のみを実施

76

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。

地域社会(交通混雑、歩行者の安全)

修正届添付資料p.5-55

予測手法(工事中)

予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
工事用車両の走行に伴う交通混雑(自動車)	【地域・地点】 工事用車両ルートとして想定される主要交差点の4地点(地点1~4) 【時期】 工事用車両の走行台数が最大となる時期	交差点需要率の算出等により、交通混雑の程度を予測
工事中の歩行者・自転車の安全	【地域・地点】 工事用車両の走行が予想される主要交差点・ルート及び施工ヤード周辺 【時期】 工事用車両の走行台数が最大となる時期	現状の交通安全施設及び歩行者・自転車の状況の整理と、本事業で実施する安全対策等を整理し、定性的に予測

77

地域社会(交通混雑、歩行者の安全)

修正届添付資料p.5-55

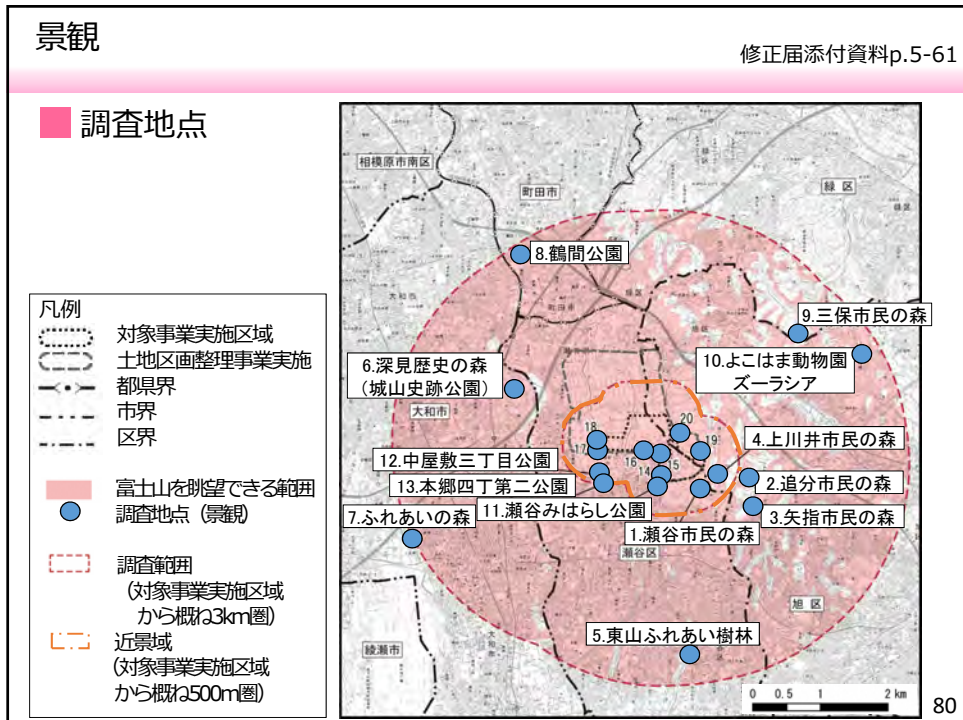
予測手法(供用時)

予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
来園車両等の走行に伴う交通混雑(自動車)	【地域・地点】 来園車両等の走行ルートとして想定される主要交差点の8地点(地点1~6、地点8、9)、及び1断面(地点7) 【時期】 供用開始時	交差点需要率の算出等により、交通混雑の程度を予測
来園車両等の走行に伴う歩行者・自転車の安全	【地域・地点】 来園車両等の走行が予想される主要交差点・ルート 【時期】 供用開始時	現状の交通安全施設及び歩行者・自転車の状況の整理と、本事業で実施する安全対策等を整理し、定性的に予測

78

- ◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。
- ◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。

景観		修正届添付資料p.5-59
調査手法		
調査項目 ^{注1}	調査方法	
地域景観の特性	資料 現地	既存資料の収集・整理及び現地踏査
主要な景観資源の状況	資料 現地	既存資料の収集・整理及び現地踏査
主要な眺望地点からの景観	注2 資料 現地	現地調査(写真撮影)により把握 ・各主要な眺望点の特性を踏まえて景観の状況が把握できる適切な時期
<p>注1：主な調査項目を記載。</p> <p>注2：土地区画整理事業において実施された現地調査の結果を収集・整理。 調査方法は、土地区画整理事業評価書における調査方法を参考に記載。</p>		
		79

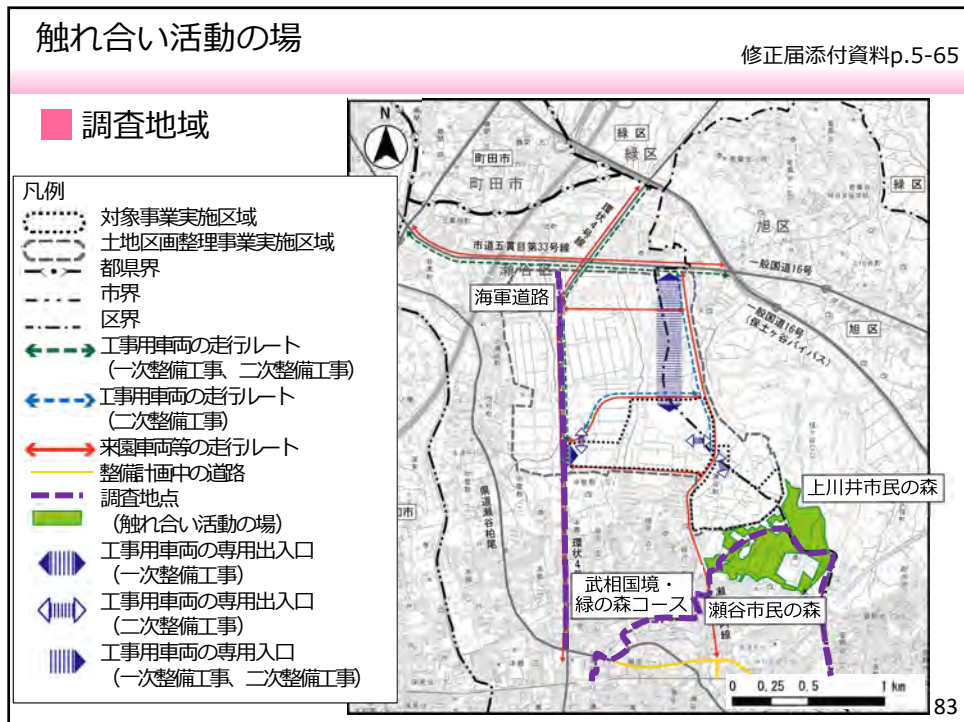


- ◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。
- ◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。

景観		修正届添付資料p.5-59						
<p>■ 予測手法 (供用時)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>予測項目</th> <th>予測地域・地点・時期</th> <th>予測方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設が存在により変化する景観の状況</td> <td> 【地域・地点】 現地調査地点と同一 【時期】 供用開始時 </td> <td> フォトモンタージュ作成により、景観の変化の程度を定性的に予測 地点11(瀬谷みはらし公園)、地点14~20においては、<u>圍繞景観の変化の程度を定性的に予測</u> </td> </tr> </tbody> </table>			予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法	施設が存在により変化する景観の状況	【地域・地点】 現地調査地点と同一 【時期】 供用開始時	フォトモンタージュ作成により、景観の変化の程度を定性的に予測 地点11(瀬谷みはらし公園)、地点14~20においては、 <u>圍繞景観の変化の程度を定性的に予測</u>
予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法						
施設が存在により変化する景観の状況	【地域・地点】 現地調査地点と同一 【時期】 供用開始時	フォトモンタージュ作成により、景観の変化の程度を定性的に予測 地点11(瀬谷みはらし公園)、地点14~20においては、 <u>圍繞景観の変化の程度を定性的に予測</u>						
		81						

触れ合い活動の場		修正届添付資料p.5-63								
<p>■ 調査手法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査項目^{注1}</th> <th colspan="2">調査方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>触れ合い活動の場の名称、位置、規模、区域及び分布状況等</td> <td rowspan="3">資料^{注2}資料</td> <td rowspan="3"> 既存資料の収集・整理及び現地踏査 ・各地点の特性を踏まえて触れ合い活動の場の利用状況が把握できる適切な時期 </td> </tr> <tr> <td>触れ合い活動の場の活動特性、利用状況等</td> </tr> <tr> <td>触れ合い活動の場までの経路、交通手段</td> </tr> </tbody> </table>			調査項目 ^{注1}	調査方法		触れ合い活動の場の名称、位置、規模、区域及び分布状況等	資料 ^{注2} 資料	既存資料の収集・整理及び現地踏査 ・各地点の特性を踏まえて触れ合い活動の場の利用状況が把握できる適切な時期	触れ合い活動の場の活動特性、利用状況等	触れ合い活動の場までの経路、交通手段
調査項目 ^{注1}	調査方法									
触れ合い活動の場の名称、位置、規模、区域及び分布状況等	資料 ^{注2} 資料	既存資料の収集・整理及び現地踏査 ・各地点の特性を踏まえて触れ合い活動の場の利用状況が把握できる適切な時期								
触れ合い活動の場の活動特性、利用状況等										
触れ合い活動の場までの経路、交通手段										
<p>注1：主な調査項目を記載。 注2：土地区画整理事業において実施された現地調査の結果を収集・整理。 調査方法は、土地区画整理事業評価書における調査方法を参考に記載。</p>										
		82								

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。
 ◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。



触れ合い活動の場

修正届添付資料p.5-63

予測手法 (工事中)

予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
工事の実施に伴う主要な触れ合い活動の場への影響	【地域・地点】 現地調査地点と同一 【時期】 工事期間全体	調査で把握した主要な触れ合い活動の場の状況と施工計画を比較することで、影響の程度を定性的に予測

予測手法 (供用時)

予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
施設の存在・土地利用の変化、及び来園車両等の走行に伴う主要な触れ合い活動の場への影響	【地域・地点】 現地調査地点と同一 【時期】 供用開始時	調査で把握した主要な触れ合い活動の場の状況と事業計画を比較することで、影響の程度を定性的に予測

84

- ◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。
- ◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。

他事業の影響も必要に応じて考慮する項目

修正届添付資料p.5-5~5-65

- 下記の環境影響評価項目については、本事業の予測時期において、その時期の他事業の影響も必要に応じて考慮し、影響を予測

環境影響評価項目	細則
大気質	大気汚染
騒音	騒音
振動	振動
地域社会	交通混雑/歩行者の安全
景観	景観
触れ合い活動の場	触れ合い活動の場

85

一部供用時の影響も必要に応じて考慮する項目

修正届添付資料
p.5-5~5-65

- 下記の環境影響評価項目については、必要に応じて一部供用時の来園車両等の影響も考慮し、影響を予測

環境影響評価項目	細則
大気質	大気汚染
騒音	騒音
振動	振動
地域社会	交通混雑/歩行者の安全


86

- ◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。
- ◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。

評価の手法 修正届添付資料p.5-5~5-65

環境の保全等に関して、

- ・横浜市が定めた計画及び指針等の中で設定している目標
- ・法令等で定められている基準
- ・地球環境に著しい影響を及ぼさない水準 等



「環境保全目標」を設定

「環境保全目標」と予測結果との対比により、評価

※結果等については、今後実施する準備書にて、お示しいたします。

87

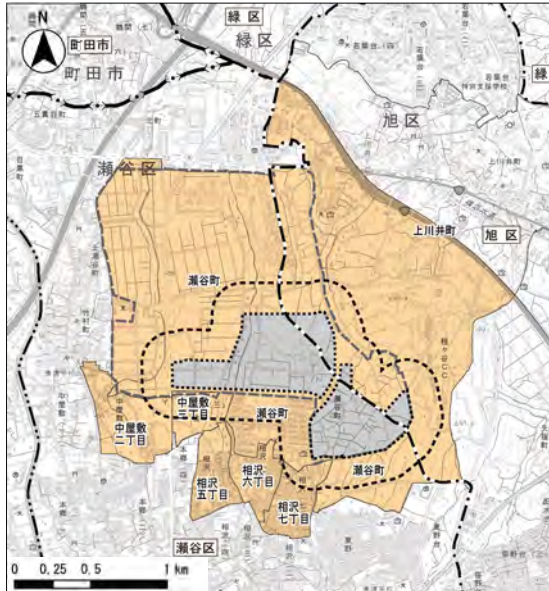
6 方法書対象地域

88

- ◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。
- ◆この資料は「(仮称)旧上瀬谷通信施設 公園整備事業 修正届出書添付資料(環境影響評価方法書との比較)」の内容を抜粋したものです。

方法書対象地域

修正届添付資料p.6-5



区町丁名	周知地域
瀬谷区瀬谷町	全域
瀬谷区中屋敷 2～3丁目	全域
瀬谷区相沢 5～7丁目	全域
旭区上川井町	一部地域

凡例	
	対象事業実施区域
	土地区画整理事業実施
	都県界
	市界
	区界
	敷地境界から約200m
	方法書対象地域

89

ご清聴ありがとうございました

90